

医科学研究会

日医生涯教育認定講座

インフルエンザウイルス感染症と 二次性細菌性肺炎



～診断、最新の治療、合併症、院内感染対策まで～

講師より一言

インフルエンザは、主として冬期に流行する呼吸器ウイルス感染症であり、通常は数日から約1週間の経過で治癒に向かうことが一般的である。しかしながら高齢者や基礎疾患を持つハイリスク群がインフルエンザに罹患すると、肺炎、および心不全などの合併症により死に至ることも稀ではない。歴史的には1918～1919年のスペインかぜ、および1957年のアジアかぜによる多数の死者が記録されており、死因として、急速に進行する肺炎によるものが多数含まれたと考えられている。また2009年に、pandemic H1N1 2009 ウイルスによるインフルエンザの世界的流行があったことも記憶に新しい。

本講演会においては、まず沖縄県で経験した純インフルエンザウイルス肺炎症例の経験を土台に、インフルエンザの診断と最新の治療、および合併症とその対策について示したい。また社会におけるインフルエンザの流行が、医療施設におけるインフルエンザの流行と密接に関連していること、院内でのインフルエンザのアウトブレイクの際の感染対策について、予防内服の適応も含めて概説したい。さらに沖縄県においては、一年中インフルエンザが流行するが特に夏のインフルエンザの流行要因についても示したい。

日時

10月30日(水)

19:30～

会場

アバンセ4F 第3研修室

佐賀市天神3丁目2-11
TEL0952-26-0011

参加費
無料

*参加対象/ 医師、スタッフ

■ FAX参加申込書

FAX (0952) 23-5218

医科学研究会

インフルエンザウイルス感染症と
二次性細菌性肺炎

13.10.30(水)

参加人数

名

医療機関名

お名前

御住所

TEL()

講師



藤田次郎先生

琉球大学大学院 教授
感染症・呼吸器・消化器内科学(第一内科)

■講師のプロフィール(ふじた じろう)

- S56.3月 岡山大学医学部卒業
- S56.4月 国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科レジデント
- S58.6月 国立がんセンター病院内科レジデント
- S60.11月 米国ネブラスカ医科大学呼吸器内科留学
- S62.12月 香川医科大学医学部附属病院第一内科助手
- H5.10月 香川医科大学医学部第一内科学助手
- H13.2月 香川医科大学附属病院第一内科講師
- H15.10月 香川大学医学部附属病院第一内科講師
- H17.5月 琉球大学医学部感染症制御学講座(第一内科)教授
- H19.7月 琉球大学医学部副学部長(兼任)
- H22.4月 琉球大学大学院
感染症・呼吸器・消化器内科学(第一内科)教授

主催 佐賀県保険医協会

☎(0952)29-1933 FAX 23-5218

E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp